

働き世代の男性のための「男性電話相談窓口」【福井県】

個別事業費	244 千円
交付金額	122 千円

地域の実情と課題

【福井県の現状】
 県障がい福祉・精神保健相談所への男性からの電話相談件数
 R2:2,933件、R3:3,043件、R4:3,406件、R5:3,257件、R6:3,356件
 ⇒やや増加傾向

男性相談者の年齢層および相談種別(R6)
 35～39歳、25歳～29歳、30～34歳、45～49歳 の順に多い
 ひきこもり、人生・生活問題、治療に関すること の順に多い

R6自殺死亡率(男性) 19.63 (参考:全国:22.38)

【福井県の課題】
 男性の相談件数が増加傾向にある現状で、男性が話しやすく相談しやすい男性相談員による相談窓口については未整備であった。

事業の特徴

- ・働く世代の相談しやすい、終業後や休日に相談窓口を設定
- ・専門資格を有し勤務問題・家庭問題に詳しい男性相談員を配置
- ・より直接的な支援が必要な場合は、専門機関および最寄りの市町における相談部署や施設に繋げる

事業の効果

月に1件程度相談が入るようになり、徐々に事業の認知がされてきたと考える。相談内容としては、職場の人間関係、離婚問題や親子関係などがあり、“同性の相談員だから話せる”といった声もあった。(相談員ヒアリングより)

【実績】
 男性相談者の相談件数 9件

目的・目標

【目的】
 働き世代の男性が相談しやすい環境づくりと、相談してよいのだという意識の醸成を図り、男性の孤独・孤立や自殺の要因となる問題の発生を防ぐ

【目標】
 男性相談者の相談件数 24件

連携団体

県内市町

県内各種相談窓口
 (DV相談、総合福祉相談所、県健康福祉センター 等)

今後の課題

- ・事業対象者に広く周知されるよう、企業や事業所、行政の窓口や自殺対策、メンタルヘルス等に関する相談窓口への情報発信を行う。
- ・また、4半期に1回のミーティングの機会に課題の整理を行うとともに、相談者のデータを収集し相談者の特性や悩みに関して分析を行う。

事業の概要

働き世代の男性のための「男性電話相談窓口」

○働き世代の男性のための男性電話相談窓口の設置

“男性”が抱える、“男性ならではの”様々な悩みを、

- ・公認心理師
- ・臨床心理士

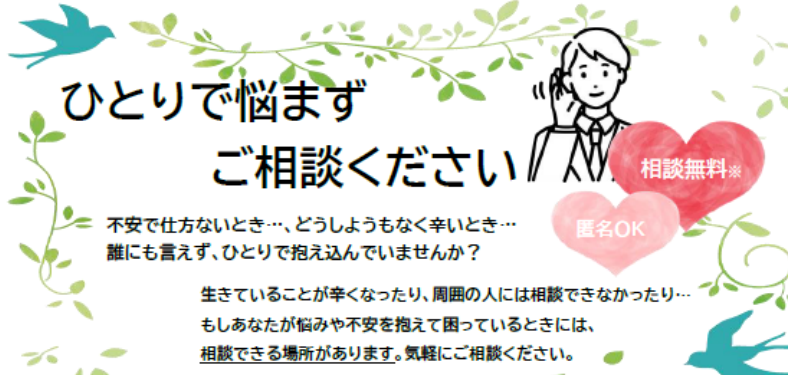
の資格を持つ男性の相談員が電話で聞き取りおよび傾聴などの対応。

加えてより直接的な支援や専門機関への相談が必要判断される場合には、相談員が各市町機関および福祉相談所等の専門機関を紹介もしくは繋ぐことで迅速な連携を実施

○相談日時：

第2土曜日 14:00～16:00 / 第4火曜日 18:00～20:00

○令和7年度相談件数： 9件



ひとりで悩まず
ご相談ください

相談無料※
匿名OK

不安で仕方ないとき…、どうしてもなく辛いとき…
誰にも言えず、ひとりで抱え込んでいませんか？

生きていることが辛くなったり、周囲の人には相談できなかったり…
もしあなたが悩みや不安を抱えて困っているときには、
相談できる場所があります。気軽にご相談ください。

※電話相談に係る通信料は相談者様の負担となります。

～相談窓口～

○ホッとサポートふくい

こころの相談、依存症、ひきこもりの相談などについてお受けしています。
☎0776-58-3710(平日9時～17時、年末年始を除く)

令和6年12月～新たに開設しました！

○働き世代の男性のための男性電話相談窓口

“男性”が抱える、“男性ならではの”様々な悩みを、公認心理師・臨床心理士の資格を持つ男性の相談員がお聞きします。

◆相談日時：第2土曜日 14:00～16:00 / 第4火曜日 18:00～20:00

◆事務局：県障がい福祉課 ☎0776-20-0634

令和7年度 実施予定日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8.1月	2月	3月
第2(土)	12日	10日	14日	12日	9日	13日	11日	8日	13日	10日	14日	14日
第4(火)	22日	27日	24日	22日	26日	23日	28日	25日	23日	27日	24日	24日

◆予約受付用二次元コード

※予約が確約するものではありません。
予約完了は「予約完了メール」をもってお知らせします。

